

2018 年度
インターンシップ・プログラム
実施報告書

2018 年 12 月



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

ごあいさつ

2018年度インターンシップ・プログラムの実施にあたり、ご協力を賜りました企業・団体や大学、その他関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

お蔭をもちまして、今年度は257名の大学生が就業体験をさせていただく機会を与えていただきました。それら修了生が実践から「働く」を考え社会人基礎力を養えたものと認識しております。

受入先、学生の双方がよりメリットを享受できるプログラムとして、発展できるよう皆様より引き続きご理解とご協力を賜りたく、今年度のインターンシップ事業の実施状況を本書にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

プログレスコース 総合コーディネーター
渡邊 博己
京都学園大学 経済経営学部 教授



プログレスコースでは、受入企業・団体様が提供するプロジェクトの最終目標達成のため、学生が主体的に計画を立て、実施をしていきます。とくにその実施過程で、想定外の様々な困難に遭遇し、そして、計画の甘さ、実行力など様々な問題に気付きます。この気付きにこそ成長するきっかけになると思います。

今年度も魅力的なプロジェクトで学生を受け入れていただきました企業・団体様に厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

ビジネスコース 総合コーディネーター
多田 実
同志社大学 政策学部 教授



おかげさまで、今年度も受講生の成長が実感できるプログラムになりました。インターンシップが就職活動に直結している「就活前哨戦」のような感覚で捉えている学生が増えている昨今ですが、本プログラムでは、当初から一貫して「教育プログラム」であることを念頭に置いており、単なる「社会人体験」ではなく受講後の学生生活を考える一助となることを願っております。今後とも皆様のご支援ご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

パブリックコース 総合コーディネーター
古川 秀夫
龍谷大学 国際学部 教授



パブリックコースでは、公共性や社会貢献を志向した実習プログラムが地方自治体や非営利組織から提供されています。受講生は、実習を通して公務員やNPO職員へのキャリア意識を醸成するにとどまらず、市民の一員として享受する行政サービスの重要性やNPOの存在意義なども認識します。近い将来どんな職業に就いたとしても、受講生の全てが公共心あふれた善き市民になることを強く念願し、確信するものがあります。

目次

第1章 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業の変遷……	1
第2章 2018年度インターンシップ・プログラムの実施内容 ……	2
I. プログラムの概要 ……	2
II. プログレスコースの実施内容 ……	3
III. ビジネスコース・パブリックコースの実施内容 ……	4
IV. プログラムを運用するにあたって ……	5
第3章 受入企業・団体のアンケート結果から ……	8
第4章 受講生のアンケート結果から ……	14
第5章 今後の課題 ……	26
＜資料＞	
資料1. 出願者・受講者数と受入企業・団体数について ……	28
資料2. 参加団体・出願者・受講者・コーディネーター(CO)数の推移 ……	29
資料3. 受入先登録企業・団体一覧 ……	30
資料4. プログレスコース講義概要 ……	32
資料5. プログレスコースプロジェクト別コーディネーター一覧 ……	33
資料6. ビジネスコース・パブリックコース講義概要 ……	34
資料7. ビジネスコース・パブリックコースコーディネーター一覧 ……	35
資料8. 受講生意識調査集計結果 ……	36

第1章 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業の変遷

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 (以下「本財団」) が窓口となって実施するインターンシップ・プログラム (以下「本プログラム」) は、1997年に当時の通商産業省・文部省・労働省が合同で「インターンシップ推進にあたっての基本的な考え方」を取りまとめたことと並行して、本財団に「インターンシップ制度研究会」を発足させたことにはじまる。この研究会における検討の結果、インターンシップは「来るべき新時代に向けての産官学地域等が協働で構築する新たな人材育成を目的とする社会的制度であり、高等教育改革に資するプログラム」であるとして翌1998年度より本格的に始動した。

本プログラムは、開始から一貫して正規の大学教育の一環として明確に位置づけ、産官学地域連携による教育プログラムとして実施してきた。実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的として、単なる就職のためのインターンシップではないことを強調している。これらの目的遂行のため、コーディネーターと事務局の協力による事業推進、受入先への訪問や意見交換会の実施、修生や受入先担当者のゲストスピーカーとしての招聘、ニーズと社会情勢に応じたプログラムの改変、マッチングや事務処理の効率化のための事務システム導入などに努めてきた。

これまでに京都地域にある大学・短期大学 (以下「大学」) のすべての学生が参加できるというスケールメリットを活かして、延べ5,300を超える企業や行政機関、非営利組織などの協力のもと、約9,300名の学生が参加し、受入先や大学、受講生、指導するコーディネーターなどの意見を反映しながら、毎年検討を積み重ねてプログラムの改善を図っている。また、2005年度には、大学共同の取り組みとして、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム (特色GP)」に選定されるなど、社会的にも教育プログラムとして高い評価を得ることができた。

本プログラムの開始以降、インターンシップは全国の多くの大学で独自の取り組みが行われた。インターンシップを実施している大学は、1996年度に17.7%であったが、2013年度には70.7%¹⁾となり、インターンシップは定着したと言える。しかし、近年は就職活動解禁日の変更に伴いインターンシップの実施方法や時期に変化が見られる。そこで、2015年度より「インターンシップ事業企画検討委員会」を発足し、今後の本プログラムのあり方について、また充実を目指し、更なる検討を重ねている。

また、各大学との連携について、2014年度から本プログラムを受講した学生に対し、大学が正課科目として単位認定をする場合、大学と本財団の間でインターンシップ・プログラムの運営に関する委託契約を新たに締結する運用を開始した。

今後も、意欲ある学生がプログラムに参加でき、これまで以上に高い満足度を維持するため、産官学地域における連携をより密にするとともに、本プログラムが受講生だけでなく、受入先にとってもより意義のある取組となるよう、プログラムを推進する。

*出典1) 日本学生支援機構 HP

平成24年度、25年度大学等におけるインターンシップの実施状況に関する調査

http://www.jasso.go.jp/career/internship_chousa.html

第2章 2018年度インターンシップ・プログラムの実施内容

I. プログラムの概要

1. コースの設定

①プログレスコース

受入企業・団体が提示したテーマを実現するプロジェクト型として実施する。インターンシップ期間は、6月から11月の約5か月間で、年1回の実施である。

②ビジネスコース・パブリックコース

企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO等）において就業体験を行う実践型として実施する。インターンシップ期間は、8月～9月中旬の間に10日以上で設定され、年1回の実施である。

2. 受入企業・団体の登録

2018年度は、前年度インターンシップ・プログラムの登録企業・団体を中心に、新規企業の開拓にも注力し、418の企業・団体に対しインターンシップ・プログラムへの登録を依頼した。

受入企業・団体の登録を依頼する際には、教育プログラムとして実施するインターンシップの理解を得るため、案内パンフレットと「受入先ガイドブック」を活用し、実習日数の確保や実習内容の設定について説明を行った。

このような依頼に対し、ビジネスコース・パブリックコースに193、プログレスコースに10、合計203の企業・団体からの登録を得た。このうち、新規に登録のあった企業・団体数は、ビジネスコース・パブリックコースに16、プログレスコースに2の合計18であった。

3. 学生の募集

学生募集にあたっては、本財団に加盟している大学のうち35大学41カ所のキャンパス、そして非加盟大学では要望により7大学にて、学生へ募集ガイドを配布した。同時に、18大学23ヶ所のキャンパスで開催されるインターンシップ説明会においてプレゼンテーションし、広報活動を行った。また、本財団所在地であるキャンパスプラザ京都でも説明会を実施し、学生へ教育プログラムとしてのインターンシップに参加する意義について丁寧に説明を行うとともに、修了生からの報告や個別相談会等での協力を得て、参加を呼びかけた。

●インターンシップ・プログラム事前説明会・相談会

(日 時) 4月21日(土) 18:00～21:00 (参加学生数) 155名

(会 場) キャンパスプラザ京都

(内 容) 2018年度インターンシップ・プログラム出願について
修了生(3名)による報告
修了生(12名)・事務局による個別相談会

●プログレスコース説明会・相談会

(日 時) 4月26日(木) 18:00～21:00 (参加学生数) 30名

(会 場) キャンパスプラザ京都

(内 容) 2018年度インターンシップ・プログラム出願について
受入先による実習内容説明
修了生(2名)による報告
受入先・修了生(2名)による個別相談会

4. 出願受付と面接

本財団の加盟大学の正規学生および大学院生であれば、学部・学年を問わず出願を可能とした。また、加盟大学の学生が優先されることを出願者が了承した場合に限り、非加盟大学の学生の出願も受け付けた。

出願手続きは、Webエントリーをした者から出願票を受け付け、面接を実施する方法をとった。出願者全員に対して行う面接では、実習を最後までやり遂げ、さらに向上心があるかを確認する質問項目を設け、出願者の志望動機を確認した。

●Webエントリー期間

4月20日（金）～5月9日（水）

●出願・面接日（会場：キャンパスプラザ京都）

5月11日（金） 16：00～18：30、12日（土） 10：00～15：00

5. 選考・マッチング

出願者に対する選考は、受入先が選考を行う場合と、本財団が選考を行う場合の2種類を設定した。選考方法は、受入先企業・団体の登録時点で決定し、学生へ情報開示した。本財団が選考を行う場合には、受入先が提示する受入要件を満たしているか、また志望理由と実習内容が適合しているかを検討し受講許可を与えた。なお、2018年度にエントリーした受入先企業・団体203のうち、受入先による選考を選択したのは47、本財団による選考を選択したのは、156であった。

ただし、プログレスコースは、長期間のプログラムであり、出願者のプロジェクト内容の理解を確認するため、全て受入先による選考とした。

6. 受講手続

受講料徴収手続きについては、2018年度も引き続き、原則コンビニエンスストアでの支払いとした。受講料は、ビジネスコース・パブリックコースで10,000円（加盟大学以外の学生は15,000円）、プログレスコースで15,000円（加盟大学以外の学生は20,000円）とし、保険料・施設利用料・その他講座運営にかかる諸費用に充てた。

II. プログレスコースの実施内容

1. 実施プロジェクト

今年度のプログレスコースにエントリーした10団体が提供する10プロジェクトのうち、6プロジェクトが成立した。6プロジェクトの内容と受講生数は、資料5のとおりである。

2. 講義概要

(1) オリエンテーション・プロジェクトの導入

受講にあたっての注意点につき事務連絡を行い、プロジェクト記録誌を配布した。プロジェクトメンバーの相互理解を深めることを目的としてプロジェクト毎にミーティングを行った。また、プロジェクト・マネジメントの基礎知識について学び、プロジェクト形成の過程で使用するワークシートの説明を受け、作成を行った。

また、外部講師を招き、ビジネスマナーの習得やコミュニケーション能力の向上を目的としたコミュニケーショントレーニング及び今後の活動計画発表や最終成果報告会に向けたプレゼンテーショントレーニングを実施した。

(2) プロジェクトの形成

プロジェクト毎のテーマに応じた目標の設定を行い、目標に向けた体制を明確化し活動計画表を完成させた。プロジェクト形成の終盤では、全受講生合同による講義時間に活動計画の発表を行い、他者からの意見を得て、活動計画の完成度を上げる機会をもった。

(3) プロジェクトの実施

主に受講生の夏期休暇を利用して、活動場所を受入先に移しプロジェクトを実施した。

(4) プロジェクトの振り返り

プロジェクトの評価方法について学び、成果報告に向けた資料の作成と最終成果報告会への準備を行った。また、プログラムの受講を通じた自己の変化を知る自己評価の時間を設け、今後のキャリア形成に向けた振り返りの機会を設けた。

(5) プロジェクト報告・評価

最終受講日には、成果報告会を実施し、約5か月間の活動報告とその成果について発表し、プロジェクト報告書を作成した。

III. ビジネスコース・パブリックコースの実施内容

1. 実習受入について

今年度は、ビジネスコースで95団体に173名、パブリックコースで28団体に65名の学生に対し受講許可を決定した。出願者と受講者数については、資料1のとおりである。

2. 講義概要

(1) 事前学習

実習に向けた目標と仮説設定、業界研究を通して言語化することをねらいとして、1クラス11名～14名で編成されたゼミ形式で実施した。業界研究については、修了生38名と受入先企業・団体のご担当者8名の方のご協力を得て実施し、社会が求めるスキルや心構えなどについても学習する機会とした。

また、台風7号と前線による大雨の影響により、7月7日に実施を予定していた講義は休講とし、7月13日～15日の3日間に代替措置として講義を行った。

(2) ビジネススキル研修

ビジネスマナーの基本とコミュニケーション能力の向上及びロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師による研修を実施した。

(3) リスクマネジメント講習

社会で起こりうるトラブルやリスクについて学び、「報・連・相」の重要性について理解を深めることをねらいとして、事前学習の初日講義日と最終講義日の2度に分けて講習を行った。

(4) 事後学習

実習で経験したことを他者に伝え、他者が経験から学んだことを聞くことにより、事前学習で設定した目標の達成や仮説の検証を行い、その後の学習意欲の喚起につながる目標を明確化するねらいをもって実施した。

「実習経験交流会」では全クラスを3グループに分け、その中でクラスごとに発表し、他クラスからのコメントを元にした振り返りも行った。

他クラスの経験からも学び、幅広い知見をもって自己の学習を振り返る機会とした。

IV. プログラムを運用するにあたって

1. 受入先企業・団体との連携

ビジネスコース・パブリックコースにおいては、マッチング後に説明会を実施し、学生を受け入れる際の重要事項を伝達するとともに、担当コーディネーターとの意見交換の時間を設けた。また、学生が実習を行っている間に、コーディネーターが受入先を訪問し、実習状況の確認を行った。プログレスコースにおいては、出願受付の前に説明会を実施し、年間スケジュールや学生を受け入れる際の重要事項を伝達した。

●ビジネスコース・パブリックコース受入先ご担当者説明会

- (日 時) 6月7日(木) 17:30~19:30
(会 場) キャンパスプラザ京都
(参加数) 受入先ご担当者63名
(内 容) 2018年度インターンシップ・プログラムについて
受入先ご担当者による事例報告
受入先様：京都駅ビル開発株式会社
同志社大学
富士ゼロックス株式会社
受入先ご担当者とコーディネーターとの意見交換

●プログレスコース受入先ご担当者説明会

- (日 時) 4月26日(木) 17:00~18:00
(会 場) キャンパスプラザ京都
(参加数) 受入先ご担当者9名
(内 容) 2018年度のプログラム概要及び年間スケジュールについて

2. 大学・短期大学との連携

学生の所属大学と連携し、プログラムの広報、意見交換、情報の共有化を行った。プログラムの広報としては、大学・短期大学の希望に応じ学生対象のプログラム説明を行った。

また、本プログラムを大学が単位認定する場合、インターンシップ事業に関わる単位委託契約の締結を行った。プログラム終了後、この契約に基づいた科目担当者会議を開催し、コーディネーターが採点した成績を開示するとともに、受入先の実習状況評価、受講生のレポート、講義への出欠状況を確認する機会を設けた。

3. インターンシップ事業企画検討委員会におけるプログラムの検討

プログラムの開始から10年目を迎えるにあたり各種委員会として立ち上げられた「インターンシップ研究会」は、長期的な教育プログラムの方向性について組織的に検討する機関として機能していたが、議題が多岐に渡るため、近年コーディネーター会議との位置づけが不明確になってきた。そこで、本来の目的に沿った機能が発揮できるよう、2015年度より、「インターンシップ事業企画検討委員会」と名称を改め、その役割を整理した。なお、インターンシップ研究会で担っていた教務に関する事項については、各コースのコーディネーター会議で審議することとしている。

2018年度も引き続き、専門委員会としてプログラムに関する検討、審議を行った。

<教育プログラムとしての質的向上に向けた課題>

- 2018年度受入先開拓の方針について
- 加盟校のインターンシップ出願・広報・実施状況について
- 受入先担当者説明会及びコーディネーターとの意見交換会について

<プログラムの特色を検証し広報する取り組み>

- 本プログラム20周年に向けた新規企画等について

インターンシップ事業企画検討委員会構成員

委員長	古川 秀夫	龍谷大学 国際学部 教授
副委員長	多田 実	同志社大学 政策学部 教授
委員	渡邊 博己	京都学園大学 経済経営学部 教授
	三浦 潔	京都文教大学 総合社会学部 教授
	河村 律子	立命館大学 国際関係学部 教授
	谷口 知弘	福知山公立大学 地域経営学部 教授
	辻野皓一郎	大谷大学・大谷大学短期大学部 学生支援部キャリアセンター
	安本祐一郎	京都学園大学 キャリアサポートセンター
	折田 美和	立命館大学 共通教育課
	代崎 拓也	京都文教大学 就職部就職進路課
	石川 武	三共精機株式会社 代表取締役社長

4. リスクマネジメント

(1) 保険

本財団では、プログラム開始から終了までの期間（実習期間を含む）、全コースの受講生を対象として、普通傷害保険及び個人賠償保険に加入し、不慮の事故やけが等に対応している。2018年度は、保険金請求事例はなかった。

【傷害保険】 死亡・後遺障害 500万円／入院保険金日額 4,500円／通院保険金日額 3,000円

【賠償責任保険】 てん補限度額 1億円（自己負担額 0円）

(2) リスクマネジメント講習

ビジネスコース・パブリックコースにおいては、事前学習にてリスクマネジメント講習を設定し、想定される事例のケーススタディを行った。また、プログレスコースにおいては、初日のオリエンテーションにおいて、「報告・連絡・相談」の重要性とともに、プログラム中に起こりうるリスクへの対応を受講生に伝えた。

(3) 三者協定書の締結

実習が円滑に進められるよう、全受入企業・団体と受講生の所属大学、本財団の三者間で「インターンシップ実習生派遣に関する協定書」を締結した。

参考：インターンシップ・プログラム 写真

1. インターンシップ説明会



2. ビジネスコース・パブリックコース講義

(左：ビジネスマナー研修、中：ゼミの様子、右：実習経験交流会)



3. プロGRESSコース講義

(左、中：講義の様子、右：成果報告会)



4. 受入先での実習の様子

(左：京都タワー 中：京都国際マンガミュージアム (京都精華大学) 右：株式会社ワイングロッサリー)



第3章 受入企業・団体のアンケート結果から

今年度のインターンシップ・プログラムに対する満足度は、「非常に満足」「かなり満足」「やや満足」を合わせた数字から算出すると95.6%であった。また、次年度の受入れ予定については、72.6%の受入先が「受入れる予定である」と回答されており、ご負担が多いにもかかわらず、多数の受入先から支持を得たことが窺える。一方、プログラムに対するご意見については改善点として認識し、今後検討していくこととする。

なお、アンケートの質問項目は、コースの内容に応じた項目を設計したため、コースにより異なる項目がある。

I. アンケートの実施要項

1. アンケート実施日

ビジネスコース・パブリックコース 2018年9月下旬～10月初旬(実習終了後)
 プロGRESSコース 2018年11月初旬～中旬(プロジェクト終了後)

2. 回答数

	企業・団体数	回答数	回答率
ビジネスコース	95	87	91.6%
パブリックコース	28	26	92.9%
プロGRESSコース	6	7	116.7%
総計	123	113	91.9%

※京都府教育委員会は受入校単位回答

II. アンケートの集計結果

1. 受入れについて

●ご準備いただいた実習内容に対し、インターンシップ生のマッチングについてはいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①満足している	74	85.1%	24	92.3%
②どちらでもない	11	12.6%	2	7.7%
③不満がある	2	2.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%

【①の理由】

全員が熱意をもって取り組んでくださいました
 別のタイプの学生(2名)をマッチングして頂いた。
 実習生自身も与えたテーマに意欲的に取り組んでもらったと感じるため
 初心者、テニス経験者二人の個性を踏まえた上でのパデル指導+αを心がけた
 大学業務・受入業務内容に興味があり、かつ真面目に取り組める実習生だった為
 真剣な取り組み態度で良かった
 学生がプログラムの趣旨を理解した上で申し込んでくれていた
 ホテルで裏方を見たいという希望とマッチしていた。
 目的意識を持って、取りこんでくれた。
 みなさん出版関連を志望されており、実習内容と合致していたのではないかと思います。

【②③の理由】

水の上での仕事なので泳げないと難しい
 実習生はとても良かったが、自宅から通うには遠すぎると思います。

●実習内容は主にどのようなものを実施されましたか。(複数回答可)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①社員の基幹的な業務の一部を体験	40	44.4%	6	20.7%	2	2.3%
②社員の補助的な業務の一部を体験	23	25.6%	14	48.3%	1	1.1%
③社員の通常業務以外の業務	5	5.6%	0	0.0%	1	1.1%
④見学を中心に実施	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤新任者研修に準ずる座学を中心に実施	2	2.2%	0	0.0%	1	1.1%
⑥その他	7	7.8%	3	10.3%	1	1.1%
無回答	10	11.1%	3	10.3%	0	0.0%

【⑥その他の記述欄】

半分の時間はOJT(業務の一部を体験)、残りの半分は個人課題のデザインに取り組んで頂きました
 グループワークを中心に金融スキルを向上
 社会人としての心構え
 日常業務のリアルな現場を体感いただいた
 アテンド営業の経験、当社歴史館見学等
 様々なフィールドワークを行い 得た情報などをまとめさせ政策提言の発表を行った
 ①～⑤すべてに該当
 各課での行政課題とその取り組みをレクチャー
 自分たちでプロジェクトを運営

●支給された各種手当の総額をお答えください。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
0円	70	80.5%	25	96.2%	5	4.4%
1円～4,999円	6	6.9%	1	3.8%	2	1.8%
5,000円～9,999円	6	6.9%	0	0.0%	0	0.0%
10,000円～19,999円	5	5.7%	0	0.0%	0	0.0%
20,000円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%	0	0.0%

●次年度のインターンシップ受入れについてお伺いします。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①受入れる予定である	62	71.3%	20	76.9%	5	71.4%
②受入れない	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
③未定	22	25.3%	6	23.1%	1	14.3%
無回答	3	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%	7	100.0%

2. 受講生について

●参加した学生の実習態度はいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①真剣に取り組んだ	80	92.0%	26	100.0%	5	71.4%
②ふつう	7	8.0%	0	0.0%	2	28.6%
③真剣さを感じられなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%	7	100.0%

●学生自身に成長があったと思われませんか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①成長があったと感じる	79	90.8%	25	96.2%	5	71.4%
②どちらともいえない	6	6.9%	1	3.8%	2	28.6%
③成長があったと思えない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%	7	100.0%

●前問で「①成長があったと感じる」と答えた方は、どのような成長がありましたか。(複数回答)

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①学習意欲の喚起	27	31.0%	7	26.9%	4	57.1%
②自主性・独創性の育成	24	27.6%	3	11.5%	1	14.3%
③キャリア形成	11	12.6%	6	23.1%	1	14.3%
④問題解決能力の向上	11	12.6%	5	19.2%	3	42.9%
⑤多様な価値観の認識	39	44.8%	12	46.2%	4	57.1%
⑥コミュニケーション能力の向上	32	36.8%	9	34.6%	4	57.1%
⑦プレゼンテーション能力の向上	12	13.8%	3	11.5%	4	57.1%
⑧社会が求める能力やスキルの向上	22	25.3%	11	42.3%	1	14.3%
⑨その他	10	11.5%	0	0.0%	0	0.0%

【⑨その他の記述欄】

法人営業職に対する認識
 スタッフを混じえた会話の中で、二人それぞれに受け取った刺激を自分の抽出に入れたことを感じた。
 業界・職種理解の必要性に気づいてもらえたこと
 福祉に対しての意識の変化
 実習のテーマの一つであった「考え方」を深めることができた。

3. インターンシップ・プログラムについて

●大学コンソーシアム京都が行うインターンシップに参加された一番の理由は何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①コンソーシアム京都の加盟大学との強化	12	13.8%	1	3.8%
②指導することにより社員の育成になるから	16	18.4%	3	11.5%
③学生への自社PRのため	7	8.0%	3	11.5%
④採用活動につなげたいから	10	11.5%	3	11.5%
⑤学生から自社に対するアイデアを得るため	8	9.2%	1	3.8%
⑥社会貢献	30	34.5%	11	42.3%
⑦その他	3	3.4%	4	15.4%
無回答	1	1.1%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%

【⑦その他の記述欄】

スペイン発のパデルというスポーツの認知度アップ、普及活動のひとつとして
 コンソーシアムの教育理念に共感しているから
 メディアリテラシーの視点から社会への貢献につなげるため
 人材育成(ユースサービスを理解した)
 青少年育成活動の一環として
 学生就業意欲の向上に寄与し、職員の指導力の向上や職場の活性化につながる

●学生を受入れて、一番のメリットは何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①大学との連携強化	9	10.3%	2	7.7%
②職場活性化	17	19.5%	6	23.1%
③指導する社員の成長	18	20.7%	1	3.8%
④自社のPR・広報・宣伝	3	3.4%	1	3.8%
⑤優秀な学生との出会い	12	13.8%	4	15.4%
⑥新たな企画開発	3	3.4%	0	0.0%
⑦社会貢献	22	25.3%	9	34.6%
⑧その他	3	3.4%	3	11.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%

【⑧その他の記述欄】

大学のまち京都の実現に貢献する
 パデルを知ってもらい広めるために2粒の種を蒔くことができた
 自社のPR・広報・宣伝を通じて業界イメージ、実際を広報するため
 若者(学生)の成長の機会に携わることができること
 ユースサービスというフィールドを知ってもらえる
 理念に則した活動の推進

●学生を受入れて、一番のデメリットは何ですか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①指導に時間・コストがかかる	57	65.5%	14	53.8%
②事前の準備に時間・コストがかかる	16	18.4%	5	19.2%
③安全への配慮に手間がかかる	1	1.1%	0	0.0%
④情報漏えいが不安である	3	3.4%	3	11.5%
⑤その他	8	9.2%	4	15.4%
無回答	2	2.3%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%

【⑤その他の記述欄】

実習担当者の業務量増
 業務量の増大により受け入れ体制の負担が大きい

●過去に受け入れた学生が、貴社・貴団体の採用試験に参加されたことはありますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①ある	27	31.0%	11	42.3%
②ない	37	42.5%	7	26.9%
③新卒採用を行っていない	10	11.5%	1	3.8%
④わからない	12	13.8%	7	26.9%
無回答	1	1.1%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%

●前問で「①ある」と答えた方にお伺いします。

過去に受け入れた学生を、貴社・貴団体において採用されたことがありますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①ある	17	63.0%	9	81.8%
②ない	3	11.1%	0	0.0%
③採用には至らなかったが応募していた	7	25.9%	2	18.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	27	100.0%	11	100.0%

●大学コンソーシアム京都以外から大学生のインターンシップを受け入れていますか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①はい	58	66.7%	24	92.3%
②いいえ	28	32.2%	1	3.8%
無回答	1	1.1%	1	3.8%
総計	87	100.0%	26	100.0%

●2018年度のインターンシップ・プログラム全体についてどの程度満足されていますか。

	ビジネス		パブリック		プログレス	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①非常に満足	42	48.3%	9	34.6%	2	28.6%
②かなり満足	30	34.5%	16	61.5%	1	14.3%
③やや満足	11	12.6%	0	0.0%	3	42.9%
④やや不満	1	1.1%	0	0.0%	1	14.3%
⑤かなり不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑥非常に不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	3	3.4%	1	3.8%	0	0.0%
総計	87	100.0%	26	100.0%	7	100.0%

Ⅲ.ご意見・ご要望について(自由記述欄より抜粋)

本項目については、基本的に原文のまま掲載する。
ただし、誤字・脱字および個人名・企業名が特定される箇所の記述については、当該部分を削除・加筆した。

《満足度の理由について》

エンタテインメント	学生の意識、中間指導等が良い。事務局メールからの情報ろう渡(メールアドレス)がありましたので、「やや満足」に下げます。
ソフトウェア・通信	ゲーム業界を知ってもらうきっかけになるため
マスコミ・広告・印刷・出版	積極的な学生を研修生として派遣いただいたこと
マスコミ・広告・印刷・出版	全員熱心に取り組んでくださったので。指導する側も成長したので。
レジャー・アミューズメント	もう少し活発な学生が良かった
医療・福祉	一人でも福祉に対しての意識の変化が見られたから
医療・福祉	来てくれた学生さんがどの方も一生懸命で、まじめに取り組んでくれたので
運輸・物流	目的意識をしっかりと持って臨まれた
運輸・物流	学生のレベルを認識していたなっただちら側の攻めもあり「やや不満」とした
官公庁(地方公共団体)	インターンの時期は当協会の繁忙期にマッチしない。
官公庁(地方公共団体)	勤務態度も真面目で、事前レポート(学習)もしっかりされていること
官公庁(地方公共団体)	実習部署において職場の活性化につながり実習生の成長も感じることができたため
官公庁(地方公共団体)	受入れの内容にあった実習生であったため
官公庁(地方公共団体)	積極的に実習に取り組んで頂き、実習生の今後の活躍に貢献できたと感じているため
官公庁(地方公共団体)	受入人数の確定がもう少し早いと有り難い。
教育(学校・大学等)	事前・中間指導があるので、実習生のモチベーションが高く維持されたまま、実習を進行することができるように感じた。
教育(学校・大学等)	学生の成長を感じることができ、職員が担当業務を内省する機会となったため
教育(学校・大学等)	受入部署にやや負担がかかるものの、指導する社員にとっても成長する機会になったと感じるため。
金融・証券・保険	実習生が優秀でやる気のある方だったので
金融・証券・保険	学生の成長だけでなく社員の刺激や成長にもつながったと感じています。
宿泊・レストラン・フードサービス	非常に誠実に取り組んでくれたことにより、他の従業員のモチベーションや労働環境の活性化が見られました。
宿泊・レストラン・フードサービス	事前説明から始まり、実際の受入の為のプログラムがしっかりしており、安心して学生さんと取り組むことができたので。
商社・卸売	テーマに即して良いレポートが完成したから。学生の学習の寄与、社員の成長への寄与、共に感じられるから
小売・販売・専門店	毎年真面目に取り組んでいただける実習生のご紹介をいただいているので。
小売・販売・専門店	出勤時間に1時間半も遅れてくる学生さんがいたので、近場の方とお互いにいいのではと思います。
小売・販売・専門店	しっかり事前準備してご参加いただけました。
小売・販売・専門店	学生が期待通りの感想を伝えてくれた
小売・販売・専門店	事前研修でインターンシップへの心構えを指導してほしいし、社会見学なら企業には負担が大きい
人材ビジネス	営業動向が中心でスケジュールが大変ではあるが、指導する若手社員には良い刺激となるので
製造(食品)	インターンシップ生の今後の役に立つ経験ができたと思うので。
非営利組織(NPO・NGO)	短期の場合、慣れてきた時に終了となり、次のステップへ行けず、勿体無い部分がある。
非営利組織(NPO・NGO)	とても人間的にあたたかく、向上心のある学生が来てくれたから
不動産・建築設計	事前説明会や中間訪問など、事務局側のサポートもあったので

《プログラムの改善点》

エンタテインメント	1DAYインターンシップとの差別化を明確にしなければ、学生・大学・企業にとって良くない!! 特に学生が1DAYに行って「インターン行きました!!」となってしまう…とてももったいないと思う。
その他	低学年の受入もありかと思えます
マスコミ・広告・印刷・出版	各企業がここ1～2年で取り入れ始めた1day 2dayインターンシップ(実質的採用活動)により就職活動に積極的な学生が、大学コンソーシアム京都のインターンシップに参加しない傾向にあると思われることへの対策を考えていただきたい
マスコミ・広告・印刷・出版	実習生が決定するまでの間、中間報告(応募人数など)があると助かると思いました。
運輸・物流	体験先企業の情報を、他の学生に広げる機会がもっとなければいけないと考えます。
教育(学校・大学等)	実施時期が夏休みとなるので、学生対応や行事が無く中々難しい
教育(学校・大学等)	インターンシップ実施期間中の賠償責任保険について、賠償範囲に制限があるため見直しが必要なのではないか。
宿泊・レストラン・フードサービス	まず弊社を選ばれた理由が明確でないのに、なぜ送り込んでこられたか?
宿泊・レストラン・フードサービス	最低10日間という受入れ日数をもう少し少なくしてほしい。
商社・卸売	コンソインターンに取り組んでいらっしゃる他社とのコラボ、連携、情報交換をもっとやれたらと思います。
小売・販売・専門店	最終日の日報コメントを書いてすぐ返却というスケジュールは時間が厳しいので他大学・団体同様に後日発送にしてほしい
非営利組織(NPO・NGO)	学生の事前訪問の時期が早い。こちらの予定が決まっていないことが多い。

第4章 受講生のアンケート結果から

今年度のインターンシップ・プログラムに対する満足度は、「非常に満足」「やや満足」を合わせると全体の86.6%であった。また、成長感については、86.2%が「成長があったと感じる」と回答した。

概して、受入先企業・団体における就業体験においては満足度も高く成長感にもつながり、体験以外の研修や講義の部分を含んでも、アクティブ・ラーニングによる効果を実感する受講生の意見が多く出された。

なお、アンケートの質問項目は、コースの内容に応じた項目を設計したため、コースにより異なる項目がある。

I. アンケートの実施要項

1. アンケート実施日

ビジネスコース・パブリックコース 2018年9月22日(事後学習日)

プログレスコース 2018年11月10日(最終講義日)

2. 回答数

	回答数
ビジネスコース	166
パブリックコース	63
プログレスコース	18
総計	247

II. アンケートの集計結果

1. 実習について

●あなたが実習をおこなった受入先へのマッチングはいかがでしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①大変満足	83	50.0%	33	52.4%
②満足	71	42.8%	27	42.9%
③どちらでもない	10	6.0%	3	4.8%
④不満	2	1.2%	0	0.0%
⑤とても不満	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%

●あなたが体験した実習内容は、主にどのようなものでしたか。(複数回答可)

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
①社員の基幹的な業務の一部を体験	50	28.9%	29	35.8%
②社員の補助的な業務の一部を体験	54	31.2%	25	30.9%
③社員の通常業務以外の業務	21	12.1%	5	6.2%
④見学を中心に実施	15	8.7%	11	13.6%
⑤新任者研修に準ずる座学を中心に実施	22	12.7%	4	4.9%
⑥その他	10	5.8%	5	6.2%
無回答	1	0.6%	2	2.5%
総計	173	100.0%	81	100.0%

【その他の記述内容】

課題(ポータブルスピーカーのデザイン)

社員さんの基幹的な業務

グループワーク

他社訪問

イベント企画→実施

接客

SDGsをいかに事業の内容に取り組みに対してのインタビュー及びレポート作成
 営業同行、他企業へインタビュー、レポート作成
 学習支援
 テーマについて研究して政策提言を行った
 業務内容を教えていただく

● 実習の実働日数は何日間でしたか。

	ビジネス		パブリック	
	回答数	%	回答数	%
10日未満	23	13.9%	6	9.5%
10日	118	71.1%	23	36.5%
11～15日	19	11.4%	22	34.9%
16～29日	6	3.6%	12	19.0%
30日以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%

● 実習の実働日数についてはいかがでしたか。

※ビジネスコース・パブリックコースを合わせて集計

	①長すぎる	②やや長い	③適当	④やや短い	⑤短すぎる	無回答	総計
10日未満	1	6	18	4	0	0	29
10日	3	40	91	6	1	0	141
11～15日	3	13	22	2	1	0	41
16～29日	3	9	4	2	0	0	18
30日以上	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
総計	10	68	135	14	2	0	229

2. 受講生自身の変化について

● あなた自身に成長があったと思えますか。

	ビジネス		パブリック		プログレス	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①成長があったと感じる	153	92.2%	59	93.7%	18	100.0%
②どちらともいえない	9	5.4%	3	4.8%	0	0.0%
③成長があったと思えない	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.2%	1	1.6%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

● 前問で「成長があったと感じる」と答えた方は、どのような成長がありましたか。(複数回答)

	ビジネス		パブリック		プログレス	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①学習意欲の喚起	60	36.1%	26	41.3%	7	38.9%
②自主性・独創性の育成	48	28.9%	15	23.8%	9	50.0%
③キャリア形成	33	19.9%	10	15.9%	2	11.1%
④問題解決能力の向上	29	17.5%	14	22.2%	7	38.9%
⑤多様な価値観の認識	77	46.4%	35	55.6%	12	66.7%
⑥コミュニケーション能力の向上	67	40.4%	23	36.5%	9	50.0%
⑦プレゼンテーション能力の向上	29	17.5%	9	14.3%	8	44.4%
⑧社会が求める能力やスキルの向上	61	36.7%	17	27.0%	3	16.7%
⑨その他	9	5.4%	1	1.6%	0	0.0%

【その他の記述内容】

レポートの書き方
 金融に対する基礎知識を得ることができた

自分の向いている会社の雰囲気が知れた
 私の苦手なことへの気付き
 積極性
 図書館業務に関する知識
 相手を尊重し、感謝の気持ち・言葉を忘れないこと
 新商品を提案しました。
 自身に足りてないものは何か考え行動できた
 積極的に行動するようになった
 働くことへの意識が前向きになったこと
 緊張するような場に少し強くなったと感じた
 チームワーク

●受入先への就職希望についてはいかがですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したい	26	15.7%	23	36.5%	4	22.2%
②やや就職したい	103	62.0%	29	46.0%	8	44.4%
③あまり就職したくない	23	13.9%	10	15.9%	4	22.2%
④就職したくない	12	7.2%	1	1.6%	2	11.1%
無回答	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

●受入先と同業種への就職希望についてはいかがですか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したい	35	21.1%	32	50.8%	4	22.2%
②やや就職したい	96	57.8%	22	34.9%	8	44.4%
③あまり就職したくない	27	16.3%	9	14.3%	4	22.2%
④就職したくない	6	3.6%	0	0.0%	2	11.1%
無回答	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

●就職することに対する意識の変化について

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①就職したいと強く思うようになった	65	39.2%	25	39.7%	8	44.4%
②就職したいと少し思うようになった	69	41.6%	21	33.3%	6	33.3%
③それほど変化はなかった	26	15.7%	14	22.2%	4	22.2%
④就職したくないと少し思うようになった	5	3.0%	3	4.8%	0	0.0%
⑤就職したくないと強く思うようになった	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

●実習前と比較して、実習した受入先の業種・職種のイメージはどうなりましたか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①良くなった	107	64.5%	48	76.2%	13	72.2%
②変わらない	51	30.7%	14	22.2%	3	16.7%
③悪くなった	7	4.2%	1	1.6%	2	11.1%
無回答	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

● インターンシップ実習で何を得られましたか。

1) 働くということを実感できた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	9	5.4%	3	4.8%	1	5.6%
③どちらでもない	10	6.0%	3	4.8%	1	5.6%
④思う	70	42.2%	30	47.6%	8	44.4%
⑤とてもそう思う	76	45.8%	27	42.9%	7	38.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

2) 受入先について知ることができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	1	0.6%	1	1.6%	0	0.0%
②あまり思わない	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
③どちらでもない	5	3.0%	1	1.6%	0	0.0%
④思う	52	31.3%	23	36.5%	7	38.9%
⑤とてもそう思う	108	65.1%	37	58.7%	11	61.1%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

3) 自分のスキルが向上した

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	2	1.2%	0	0.0%	1	5.6%
②あまり思わない	9	5.4%	5	7.9%	0	0.0%
③どちらでもない	28	16.9%	13	20.6%	3	16.7%
④思う	103	62.0%	34	54.0%	10	55.6%
⑤とてもそう思う	24	14.5%	10	15.9%	4	22.2%
無回答	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

4) 自分の専門知識が向上した

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	2	1.2%	1	1.6%	0	0.0%
②あまり思わない	7	4.2%	3	4.8%	2	11.1%
③どちらでもない	35	21.1%	21	33.3%	2	11.1%
④思う	89	53.6%	30	47.6%	9	50.0%
⑤とてもそう思う	33	19.9%	8	12.7%	5	27.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

5) 自分の力試しが出来た

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	12	7.2%	7	11.1%	0	0.0%
③どちらでもない	38	22.9%	11	17.5%	3	16.7%
④思う	78	47.0%	32	50.8%	10	55.6%
⑤とてもそう思う	37	22.3%	13	20.6%	5	27.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

6) 卒業までの目標設定ができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	3	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
②あまり思わない	8	4.8%	5	7.9%	2	11.1%
③どちらでもない	40	24.1%	15	23.8%	7	38.9%
④思う	84	50.6%	35	55.6%	6	33.3%
⑤とてもそう思う	31	18.7%	8	12.7%	3	16.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

7) 受入先に貢献できた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	3	1.8%	1	1.6%	0	0.0%
②あまり思わない	24	14.5%	10	15.9%	1	5.6%
③どちらでもない	51	30.7%	21	33.3%	4	22.2%
④思う	75	45.2%	28	44.4%	11	61.1%
⑤とてもそう思う	12	7.2%	3	4.8%	2	11.1%
無回答	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

8) 他大学の学生・教員とのネットワークができた

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①全く思わない	10	6.0%	1	1.6%	0	0.0%
②あまり思わない	14	8.4%	6	9.5%	2	11.1%
③どちらでもない	23	13.9%	12	19.0%	2	11.1%
④思う	74	44.6%	32	50.8%	4	22.2%
⑤とてもそう思う	45	27.1%	12	19.0%	10	55.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

● 実習を終えた今の自分が社会に出る際に不安だと思うことは何ですか。

1) ビジスマナーや話し方

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	19	11.4%	9	14.3%	7	38.9%
②やや不安だ	84	50.6%	26	41.3%	8	44.4%
③どちらでもない	21	12.7%	12	19.0%	0	0.0%
④あまり不安ではない	38	22.9%	15	23.8%	2	11.1%
⑤不安でない	4	2.4%	0	0.0%	1	5.6%
無回答	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

2) 職場の人との人間関係

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	26	15.7%	8	12.7%	5	27.8%
②やや不安だ	43	25.9%	26	41.3%	6	33.3%
③どちらでもない	35	21.1%	16	25.4%	2	11.1%
④あまり不安ではない	52	31.3%	11	17.5%	5	27.8%
⑤不安でない	10	6.0%	2	3.2%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

3) スキルや専門知識

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	26	15.7%	10	15.9%	7	38.9%
②やや不安だ	70	42.2%	28	44.4%	5	27.8%
③どちらでもない	50	30.1%	17	27.0%	1	5.6%
④あまり不安ではない	16	9.6%	8	12.7%	4	22.2%
⑤不安でない	4	2.4%	0	0.0%	1	5.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

4) 体調管理

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①不安だ	9	5.4%	10	15.9%	2	11.1%
②やや不安だ	33	19.9%	13	20.6%	3	16.7%
③どちらでもない	38	22.9%	14	22.2%	3	16.7%
④あまり不安ではない	56	33.7%	12	19.0%	5	27.8%
⑤不安でない	30	18.1%	14	22.2%	5	27.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	166	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

3. インターンシップ・プログラムについて

● インターンシップ・プログラム全体についてどの程度満足していますか。

	ビジネス		パブリック		プロGRESS	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
①非常に不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
②やや不満	2	1.2%	3	4.8%	1	5.6%
③どちらでもない	18	10.9%	5	7.9%	0	0.0%
④やや満足	74	44.8%	33	52.4%	11	61.1%
⑤非常に満足	68	41.2%	21	33.3%	6	33.3%
無回答	3	1.8%	1	1.6%	0	0.0%
総計	165	100.0%	63	100.0%	18	100.0%

Ⅲ. ビジネスコース・パブリックコース「実習経験交流会」について(学生アンケート自由記述欄より)

●発表を聞いての感想

- ・それぞれのグループが実習で学んだこと、実習内容を聞いて今後自分にも活かしたい
- ・色々な業種の話をして視野が広がった。
- ・ゼミごとに異なるスタイルで面白かったです。
- ・他業種にも興味がわきました。
- ・職種は違うが共通していることが分かった。
- ・自分の知らない業界について広く浅くではありますが、知ることができた
- ・各業界で内容が 180 度違うが、基本的な業務や理念はどの企業も一緒だなと思った
- ・絵や写真を使っただけの発表があり分かりやすかった。
- ・色々な業種を見ることが出来たのと同様に、色々な表現方法があることを知れた。
- ・社会人基礎力の向上、目的意識を持ってインターンに励んでいると実感した。
- ・業種によって関わる人たちや仕事をする際の意識は大きく異なるけれど、根本的な心の持ち方や人との向き合い方で大切なところは変わらないと感じた。
- ・短い時間に学んだことをまとめるのは難しく、人に分かりやすく伝えるにはどうすべきかが見えた。
- ・私は三回生であり、気になる実習があっても来年、その実習に参加することはできません。ですので、実際の業務と少し異なる実習内容を聞いてもあまり参考になりません。したがって、実習内容よりも、それをうけて、何を心得、その経験を今後の就職活動にどのような手段を用いて活かしていくのかを知りたいです。
- ・実習を経て、皆それぞれ成長した点や今後の課題をきちんと見つけられていると感じた。
- ・業界によって内容、学んだ事がまったく異なることを知り、仕事の種類はたくさんあるなど改めて感じました。
- ・自分が考えている就職先以外にも視野を広げることが大切だと思った
- ・様々な業界を短時間で垣間見ることができてよかった
- ・ビジネスとパブリックではサービス対象が違いますが、実習を経て出てきた課題は似ていると思いました。
- ・多くの業種に関心を抱くきっかけとなったし、異種業界を知れて本当に良かった

●発表時間及び準備について

- ・準備時間が足らなすぎたので、事前学習を 1 日変更させるとかした方がいい
- ・ちょうど良いと感じた。
- ・発表時間→調度良い 準備時間→短い
- ・準備時間があまり、発表時間が短く感じた。
- ・全体発表だったので、他の人が何をしたのかわかりづらかったので、クラスシャッフルでも良いのではないかと思いました。
- ・事前に写真等も用意できれば良かったです。
- ・コメントを書きつつ、発表の準備をしなければいけなかったため、慌ただしく感じた。

- ・発表時間はもう少し 2 分程ほしいなと感じました。準備時間に関してはもっと時間がほしいと思いましたが、あえて短時間にすることで、全員が真剣に取り組むことができたと感じました。
- ・1人が少しでも(1分程でも)発表できる場になれば、実習した身としては伝えることで達成感などもあると思うので、時間にもう少し余裕があればと思いました。
- ・共に少なく感じましたが、短時間でゼミの皆と一緒にひとつは発表をつくりあげることは良い経験となりました。
- ・企業さんをお呼ぶなら入念な準備をさせるべき話し方や内容などとても参考になりました
- ・限られた時間内での完成は大変だが社会人ではそれができないといけないので貴重な体験ができました。

●その他の意見

- ・実際の業務の写真がある班の発表がイメージしやすくとても分かりやすかった
- ・質問や意見で「遠くから何を書いているか分からない」「モニター使うべき」などの意見を頂いたが、モニター使用できるのを知らず、付箋でおこなうよう先生からの指示だったので、少し残念だった
- ・私としては、劇にすると、順序立てて説明しにくくなるので、普通に発表したほうが分かりやすいと思います。
- ・最後のふり返り、感想の発表はとくにいらないと感じた
- ・輪になって話しやすい会場だともっと良いと思います。
- ・今後も経験交流会を続けてほしい
- ・もう少し話し足りないことは発表後に質問や自由に話せる時間を持つことで解決できるかなと思いました。
- ・自分たちの発表に全く知らない人たちからフィードバックをもらえるのがうれしかった
- ・受入先の方々からのコメントが嬉しかったです。
- ・手元に残しておける様なその他の実習先のまとめをいただけるともっと他の生の声を知ることができると思った
- ・受入先企業様が想像以上に少なく残念でした。
- ・ゼミごとに先生によってどう発表するかが変わるのですべて同じに統一してほしいです。
- ・流れの目次的なもの（何番、何時にどのクラスが発表など）を出して欲しかったです。
- ・数分の発表に何十人も前に出る必要性が分からない
- ・受入先の人たちの話の内容がおもしろかったです。
- ・事前学習のテーマ、受入先での仕事内容・プログラムは明確にしてほしい。
- ・全クラス発表を見られるようにしてほしい。

IV. 意見・感想について(学生アンケート自由記述欄より)

1. ビジネスコース・パブリックコースの自由記述

●全体を通して

- ・土日に数回行くのが少し不満でしたが、違う大学の人達と学ぶ機会は少なかったのでも貴重な経験で良かったです。
- ・事前・事後学習も十分にあり、インターンに行く&発表の「準備」ができ、自分自身の振り返りや整理ができたので良かった、
- ・インターシップを通して、普段会えない学生や企業の方と会えて、たくさんの意見を聞けて新鮮の連続でした。
- ・1day では気づけない長期ならではのよさがあった。
- ・他大学だけでなく、自分の通う大学でも新たな友達ができたのは嬉しかった。
- ・事前学習が長すぎる
- ・教育プログラムとしての面が強いインターンシップは数少なく、インターンデビューの2回生にもやさしいなあと感じました。
- ・事前学習の必要性を大きく感じる事が出来なかった
- ・スケジュールがぎりぎりに公開される割に（ふりかえ日、事前訪問、でんわ）強制の言葉が強くてやもやした。提出物が金土日で京都まで行くのが金銭面でも時間の都合でも辛い
- ・たくさん学べたので行って良かったなと思いますし、後輩たちにもすすめたいです。
- ・レポートの提出が多かったので少なくしてほしいです。またレポート提出もメールで提出すればよいものではないかと感じます。無駄な時間、無駄な電車賃を使い、提出する理由、意味が無いように感じます。
- ・事前学習があったので、マナーとかの心配はなかった。マナー講座は堅苦しいものだと思っていたが楽しかった。
- ・コンソーシアム京都を受講して、インターンシップの前後により、事前知識や反省をすす事が出来る機会がある事が良い点であると思いました。
- ・補講（雨で流れた分）は急に次週に持ちこしになったが、学生はそんなにヒマじゃないと思ったからなくすべきと感じた
- ・企業様の好意で成り立っているなと思いました
- ・他大学の人たちの交流がとても良かった
- ・それぞれの企業でインターンへの力の入れ具合に差があり、アルバイトの延長の企業もあればしっかり教えている企業もあり、様々で当たりはずれがあると感じた。
- ・第1希望の大学コンソーシアム京都で9日間インターンできて本当によかった&ラッキーでした。

- ・初めてのインターンシップでとても不安だったが、終わってみると、やってよかったと思うし、達成感があった。
- ・企業の系統が似ているのでまとまる反面、偏りの多さを感じた。また、男女比にももう少し配慮があると私たちのような女子大学に通うものは新しい視野につながった。
- ・実習日誌の記録がコミュニケーションにもつながって良かったと思う。
- ・このインターンシップは事前事後学習が充実しており、やりっぱなしで終わらない点が魅力的だと思いました。
- ・いろんな受入先の発表を聞き、業務理解・内容を知ることができ良かったです
- ・知名度を上げいてほしい。
- ・京都府「与える仕事がない…」というのにコンソはもっと答えるべき。詳しいプログラムを受け入れ先と連携して作り上げるべき。
- ・1番最初に教えて頂いたPDCAを1通りまわして、達成感とともに確実にレポート作成
- ・グループディスカッションをあまりする機会がなかったので、良い経験になりました。

●事務局について

- ・レポート提出の際に優しく接していただいて嬉しかったです。
- ・気さくな方が多くて、面接の際に助けられました。ありがとうございました。
- ・連絡が早くて助かった
- ・対応もよく、明るい気持ちになった
- ・台風の災害が多かったが、コンソーシアム京都はすぐにメールをくれて対応が早く、こちらも対応しやすかった。皆さん明るい方々ばかりで頼りやすかった。
- ・親身になって相談にのって頂き、安心してインターンシップに参加することができた。
- ・一度電話をかけた時、対応がとても悪く、怒られることではないはずの件で、半ば怒り口調での対応が残念でした。
- ・写真撮られるのが嫌だった。ただこれに関しては承諾したかさえおぼえていないので完全に自己願望です。
- ・レポートをメールで提出できるようにしてほしい
- ・私とマッチする配属先にしてくださって（考えてくださり）ありがとうございました！
- ・あまり事務の方とは交流がなかったので、もう少し交流の場を作っていただいてもよかったように思います。
- ・実習中の事務局の営業時間外でのトラブル時の対処方法がわからなかった
- ・電話対応は今までの人生で一番悪いものでした。また、レポート提出の方法は嫌がらせと言う他なく学生の手助けどころか妨害に近いものでありました。内容が非常に良いものであったため非常に残念です。また事あるごとに「単位を落とす」と脅しに近い扱いを受けました。もともと単位は出ない大学なのですが、あまり良いイメージを受けない。
- ・実習先が事務局に日程表を郵送したとおっしゃっていましたが、結局手元に届いていま

せん。また、募集の際提示された実習期間と実習内容が実際のものとは異なっておりまして。そのため、実習でお世話になった団体に例年不満も寄せられるそうです。私自身、業務の体験というよりは、ボランティアとしての参加、というようであり、これを「インターンシップ」と捉えて良いのだろうか、と感じております。

●コーディネーターについて

- ・面白い先生に出会えて良かったです！とても楽しく講義を乗り越えることができました。とにかくサイコーだった!! コーディネーターの先生のおかげでゼミの雰囲気も良くなり、最後の発表も劇が出来たので満足しています！良い思い出になりました
- ・とても教室内では親切だったのですが、レポート内容や実習時間の変更などのメールを送っても返信が全くなく、不安になりました。
- ・レポートの誤字や内容の確認をしっかりとってくれて、とても良かったです。
- ・中間指導時に低姿勢すぎるように感じた。柔軟な対応を下さり、助かった
- ・今の学生を取り巻く環境についての理解をあまり得られませんでした。より、的確で正しい指示や指導を望みたいです。
- ・自由度が高く、親切な方でした。そして親しみやすかったです。
- ・自分には合わなかったのですが、これからこういう人と付き合ういい経験になった
- ・他チームのコーディネーターの先生とも関わり合いが持てたら嬉しかったです。
- ・情報という業種だからということもあると思うのですが、早口で話されるので、内容を理解するのに苦労しました。
- ・自分の知らないことを多く知っていて、非常に知識があり、優しく教えて下さいました。
- ・講義が、先生から学ぶことがなくて、時間が余ることが多かった。台風で違う先生の講義を受けて驚いた。もう少し、面白い授業にしてほしい
- ・小さな疑問でも、丁寧に答え教えてくださりました。また、実習先にも様子を見に来てくださいました。
- ・非常に陽気で、コミュニケーションも取りやすく、お兄さんの存在でした。
- ・中間指導や講習などとても親切でわかりやすかったです。
- ・自分の良い点・悪い点をわかりやすく説明していただいた
- ・台風で代替えの補講で感じたのですが、細かく指示している（事前レポートなど）コーディネーターもいれば、放任主義のコーディネーターおいて、バラつきが激しいと思いました。
- ・レポートの書き方のヒントなど、とても進めやすかった
- ・実習に関して、例年の様子を踏まえ、実習で気を付けるポイントや就活についても有益な情報を聞くことができ、とても満足している
- ・すごく丁寧な指導を下さったので、レポートの作成の仕方や公務員の仕事や心構えなどについて考えることができ、理解を深められました。

2. プログレスコースの自由記述

●全体について

- ・期待に応えるものとなった。しんどいこともあったがそれが成長につながる
- ・現場でたくさんの学びがありました。
- ・思っていたのとは違ったが、自分の知らなかった視点の人を知ることができた。
- ・自分自身大きくかわりました。
- ・大変満足
- ・経験という観点においては良かったと思います。
- ・教職だけではなく、企業の方との一緒にインターンシップであったので、「どのような行動をされているのか」お話を聞く中で、新しい気づきがありました。

●講義について

- ・他のプロジェクトメンバーと、もっと交流があると、もっと学習があると思います。
- ・ワークシートの記入の際など教育委員会が浮いてしまっているようでした。
- ・受入先の方がとても親切で、話しやすかったし、多くの経験をさせていただいた。
- ・1日の活動が始まる時間、終わる時間などはしっかり決めたかったと思いました。でも内容の問題的に時間設定は妥当だったと思います。
- ・コーディネーターとの関りがよくわからなかった。
- ・インターンシップの種類が様々だったので、自分がしたい経験ができると思うので、良いと思います。
- ・コミュニケーショントレーニングやプレゼントレーニングを重視してほしい。
- ・はじめの¥15000が重たい
- ・対応が良かったので、特に悪いという点はないです。

●その他意見・要望

- ・講座（ビジネスマナー等）が良かった
- ・興味がなかった職業の良さを知れてよかった。
- ・普段人前で話す機会が少なかったり、まじめな事を同年代の子と話すことが無かったので、同じ年代の子を知れてよかったです。また、仕事の大変さ楽しさを知れた。
- ・将来に向けてとてもタメになるインターンシップなので、参加して良かったと思います。理論的な講義も重要だとは思いますが、学生はお金を払って参加しているので、より次のステージで活かせる知識・体験に焦点を当ててほしい
- ・新たな自分に気づくことができました。
- ・このインターンシップに参加していただき、自分の課題や、仕事の楽しさに気づくことができました。とても自分のためになった経験になりました。ありがとうございました。

第5章 今後の課題

1. インターンシップ巡る現状

財団によるインターンシッププログラムは、1998年度から20年にわたり大学と連携し、大学から社会への接続を目的としたキャリア教育プログラムとして充実を図ってきた。近年、インターンシップの社会的普及の中で、全国の大学、企業・団体がそれぞれ独自にインターンシッププログラムを展開しているが、企業・団体による採用を目的としたワンデイ型のインターンシップの増加が顕著となっている。その影響もあり、財団が大学と連携して教育プログラムに必要な内容として実施している「事前・事後学習」4日＋「実習」10日以上 of ビジネス・パブリックコース、約5ヶ月にわたる講義と実習で構成されたプログレスコースへの学生参加と受入協力の企業・団体が大きく減少している。

一方で、学生が十分な職業意識の形成ができていないまま進路・就職先選択を行うことは、就職後の早期離職につながることもあり、行政や企業関係者からは、京都地域の中堅中小企業における厳しい新卒採用状況の改善につながるような企業・団体、業界への関心を高めるインターンシップのあり方や、受入れ企業・団体においても自社の人材育成や成長につながるよう、インターンシップへ関わることの必要性などの意見が出ている状況である。

このように財団プログラムへの期待が高まる中、学生がより自身の職業観を深め、その中で京都にある企業・団体等への関心をさらに高めること、受入先企業・団体の組織課題や人材育成などに資することを含めたプログラムの改善を進め、京都地域全体での人材育成と社会活性化を促進する仕組みにしていけることが必要となってきた。

2. 第4ステージプラン（2014～2018年度）で実施したこと

財団によるインターンシップ・プログラムの最大の特長は、1大学ではできない約30校から参加する多様な学生が学び合えること、京都地域を中心とした200を超える受入先等の協力を得ていること、ゼミ運営を担当するコーディネーターも加盟大学からの多様な教員であることである。この特長をもとに、加盟大学とは大学設置基準に基いたインターンシップ科目として単位認定を行うため、業務委託契約を締結するとともに、加盟大学毎のキャリア教育の方針を踏まえ学生への募集説明会の実施を進めた。

また、受入先には質の高い実習内容を提供いただくため、実習内容に関する基準を設定し、特にビジネス・パブリックコースでの実習期間を10日以上と明示し、受入先とコーディネーターとの懇談会を開始した。あわせて、過去10年連続で支障なく受入している32の企業・団体へ、今後も受入を依頼するとともに感謝状贈呈と公表を行った（20周年記念事業として）。

プログラムについては、ビジネス・パブリックコースでは、ゼミの枠を超え実習経験を共有しながら幅広い視点で自らを振り返るとともに、出席率を向上させるように事後学習の内容を一部見直した。一方、プログレスコースでは、長期プログラムの特長である学生の達成感や受入先での事業支援への効果について加盟大学や社会にアピールする取り組みを強化し、学生出願と受入先確保を進めた。その他、修了生（OB・OG）との継続的な関係を強化し、参加学生へ教育的な支援を進めている。

運営体制の強化としては、インターンシップ事業企画検討委員会に受入先からの委員を加え、安定したコーディネーターの就任を進めるための規約や、受入先・大学・財団との3者協定書等の内容の整備を進めている。

その他、近年増加している台風等の異常気象による休講と補講について、今後のためのルール整備を進めた。

3. 第5ステージプラン（2019～2023年度）での計画について

前述したインターンシップを巡る現状と課題に基づき、以下のような検討を開始している。

(1) インターンシップ・プログラムの改善

財団インターンシッププログラムの改善の狙いについては、学生を対象とした教育プログラムとしての質的向上と併せて、実習先における組織的な課題の対応や人材育成及び学生の企業・団体、業界への関心向上に資することを目的に、実施をすすめる。特にプログレスコースは長期プログラムの特長を活かし、2019年度において以下の改善を行う予定である。

- ① 写真・映像を正しく作成・使用するスキルやルールを理解させる教育、活動についての記録と振り返りの促進（プロジェクト記録誌のポートフォリオ化）、実習時間の明示と講義内容の改善、講義時間の改善、名称を「長期プロジェクトコース（プログレスコース）」に変更する。
- ② 受入先とのプロジェクトの内容について、目標設定に係るコーディネーターとの共同検討による学生教育と受入先の業務改善効果の向上を進める。

また、ビジネス・パブリックコース、プログレスコースともに、2年次生以下のインターンシップへの関心の高まりとともに、加盟大学での2年生を含めたインターンシップ促進の動きをもとに、加盟大学と協力した2年次生向けのプログラム説明や広報強化を図る。

(2) 加盟大学が実施するインターンシップ・プログラムの今後の方向性についての調査と連携のあり方の検討

- (3) 優れた実習プログラムを実施する受入れ先企業・団体と大学との接点の拡大
- (4) 修了生（OB・OG）との連絡体制の継続的な構築と現役学生への教育支援
- (5) 新たなインターンシップ・プログラムを展開するための調査研究
- (6) メディアを活用したインターンシップ・プログラムの活動広報の促進

以上について、今後も加盟大学および受入先との意見交換を行いながら改善を図りたい。

資料1. 出願者・受講者数と受入れ企業・団体数について

1) コース別 出願者数と登録団体数

コース名	学生			企業・団体		
	出願者数	実習許可者数	修了者数	登録団体数	受入れ団体数	受入れ率
ビジネス	265	173	166	156	95	60.9%
パブリック		65	62	37	28	75.7%
プログレス	21	19	18	10	6	60.0%
合計	286	257	246	203	129	63.5%

2) 学年別 出願者数と受講率

学年	出願者数		実習許可者数		受講率
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	
1年次(回生)	6	2.1%	6	2.3%	100.0%
2年次(回生)	49	17.1%	46	17.9%	93.9%
3年次(回生)	221	77.3%	197	76.7%	89.1%
4年次(回生)	8	2.8%	6	2.3%	75.0%
5年次以上(回生)	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
大学院生	2	0.7%	2	0.8%	100.0%
合計	286	100.0%	257	100.0%	89.9%

3) 男女別 出願者数と受講率

	出願者数		実習許可者数		受講率
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	
男性	98	34.3%	86	33.5%	87.8%
女性	188	65.7%	171	66.5%	91.0%
合計	286	100.0%	257	100.0%	89.9%

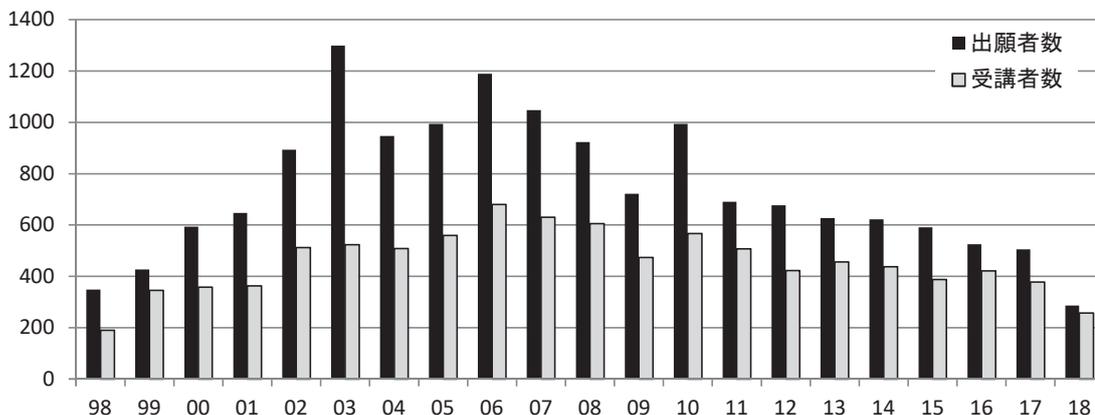
4) 大学別 出願者数

	大学名	出願者数	実習許可者数	大学名	出願者数	実習許可者数
加盟大学	京都大学 ※大学院生含む	3	3	京都文教短期大学	0	0
	京都教育大学	3	3	京都薬科大学	0	0
	京都工芸繊維大学	2	2	種智院大学	0	0
	京都市立芸術大学	1	1	成安造形大学	4	3
	京都府立大学	9	8	同志社大学	43	42
	京都府立医科大学	0	0	同志社女子大学	4	3
	福知山公立大学	0	0	花園大学	3	3
	池坊短期大学	0	0	佛教大学	5	5
	大谷大学	11	8	平安女学院大学	1	1
	大谷大学短期大学部	0	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
	京都医療科学大学	0	0	明治国際医療大学	0	0
	京都外国語大学	3	3	立命館大学※大学院生含む	11	11
	京都外国語短期大学	0	0	龍谷大学	69	63
	京都学園大学	11	9	龍谷大学短期大学部	0	0
	京都華頂大学	0	0	大阪医科大学	0	0
	華頂短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
	京都看護大学	0	0	放送大学 京都学習センター	0	0
	京都経済短期大学	0	0	大阪大学	0	0
	京都光華女子大学	0	0	大阪樟蔭女子大学	0	0
	京都光華女子大学短期大学部	0	0	大阪経済大学	0	0
	嵯峨美術大学	1	1	関西大学	2	2
	嵯峨美術短期大学	1	1	関西学院大学	0	0
	京都産業大学	25	19	近畿大学	0	0
	京都女子大学	28	26	奈良県立大学	0	0
	京都精華大学	0	0	島根大学	0	0
	京都西山短期大学	0	0	信州大学	0	0
	京都造形芸術大学	0	0	四天王寺大学	1	1
	京都橘大学	17	17	滋賀県立大学	1	0
	京都ノートルダム女子大学	2	2	追手門学院大学	1	0
	京都美術工芸大学	0	0	舞鶴工業高等専門学校	1	1
	京都文教大学	23	19	出願者総数	286	257

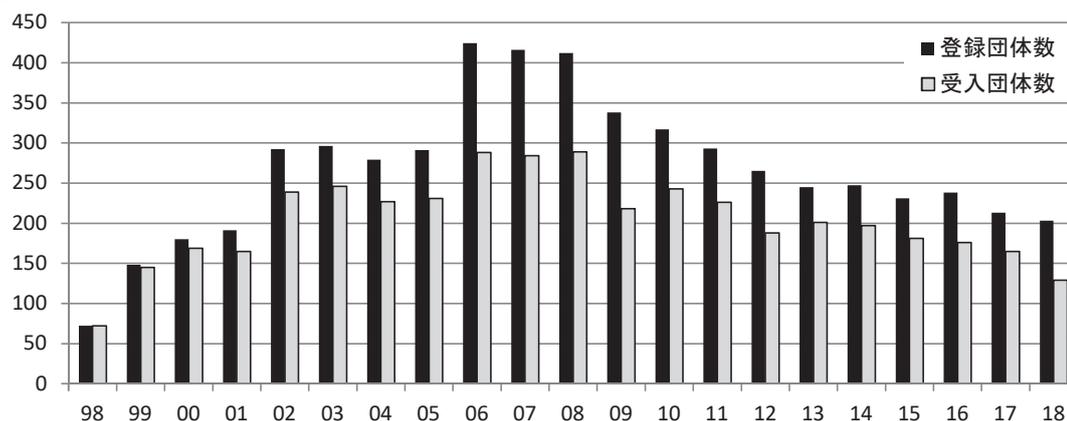
資料2. 参加団体・出願者・受講者・コーディネーター(CO)数の推移

年度	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
出願者数	348	426	593	646	893	1298	946	994	1189	1047	923	721	993	690	676	627	621	591	524	505	286
受講者数	190	346	358	363	512	523	509	560	680	630	605	473	567	507	422	456	437	388	421	378	257
登録団体数	72	148	180	191	292	296	279	291	424	416	412	338	317	293	265	245	247	231	238	213	203
受入団体数	72	145	169	165	239	246	227	231	288	284	289	218	243	226	188	201	197	181	176	165	129
CO人数	9	12	13	16	27	26	30	32	39	40	43	37	37	38	37	35	32	31	33	33	24

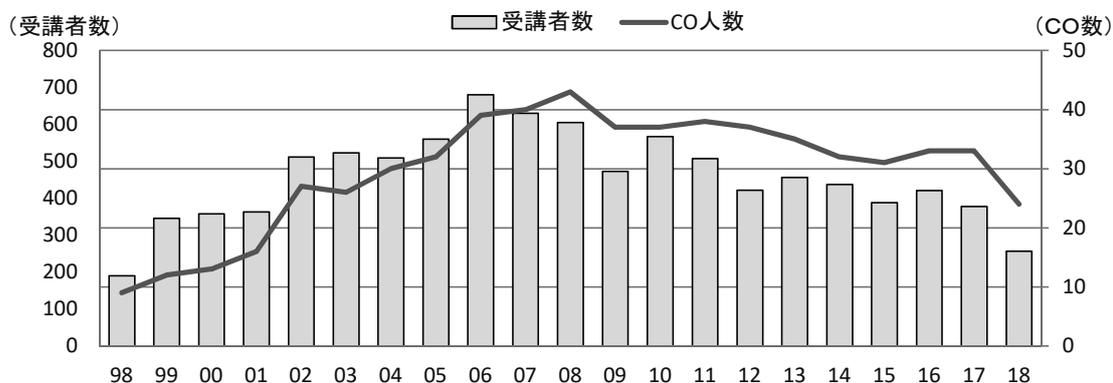
出願者数の推移



参加団体数推移



CO数と受講生推移



資料3. 受入先登録企業・団体一覧

ビジネスコース・パブリックコース

◆製造

株式会社石田老舗
 株式会社カシフジ
 株式会社加貫ローラ製作所
 金井重要工業株式会社
 亀屋良長株式会社
 株式会社キョーテック
 株式会社魁半導体
 株式会社聖護院ハツ橋総本店
 株式会社ShinSei
 株式会社セイワ工業
 株式会社積進
 ダイイチ株式会社
 株式会社大東技研
 大和電設工業株式会社
 株式会社俵屋吉富
 寺崎電気産業株式会社
 株式会社傳來工房
 株式会社富永製作所
 株式会社西利
 日東精工株式会社
 パナソニックシステム
 ソリューションズジャパン株式会社関西支社
 株式会社堀場製作所
 マルホ発條工業株式会社
 株式会社壬生電機製作所
 ムラタ
 株式会社箭木木工所
 ロンドフードサービス株式会社

◆運輸・物流

嵯峨野観光鉄道株式会社
 株式会社塚腰運送
 都タクシー株式会社

◆人材ビジネス

株式会社OVO
 株式会社キャリアパワー

◆士業(法律・会計事務所)

司法書士法人F&Partners
 特許業務法人京都国際特許事務所
 弁護士法人中村利雄法律事務所

◆小売・販売・専門店

株式会社川勝總本家
 株式会社京織京都さかの館
 京都生活協同組合
 株式会社くろちく倭美坐
 生活協同組合コープしが
 つるやゴルフ
 株式会社ハートフレンド
 (総合食品スーパーフレスコ)
 株式会社花工房
 富士ゼロックス京都株式会社
 株式会社丸善ジュンク堂書店京都店
 丸善雄松堂株式会社京都支店
 株式会社よーじや
 株式会社レスキュージャパン

◆ソフトウェア・通信

インフォニック株式会社
 株式会社教育ソフトウェア
 協和テクノロジズ株式会社
 株式会社クラウドクリエイティブスタジオ
 株式会社クラックスシステム

◆コンサルティング・調査・研究

しあわせ総合研究所グループ
 株式会社地域社会研究所
 株式会社地域未来研究所

◆マスコミ・広告・印刷・出版

アートム株式会社
 株式会社あおぞら印刷
 株式会社イー・トラックス
 株式会社エトレコミュニケーションズ
 株式会社関広
 株式会社京都通信社
 株式会社京都放送
 株式会社デアライブ
 有限会社ティーエスピー
 株式会社ビー・ドリーム
 株式会社らくたび

◆プライダール

株式会社エイジエイクリエーション

◆金融・証券・保険

株式会社葵総合保険
 株式会社エスアールエム
 SMBC日興証券株式会社
 京都信用金庫
 京都中央信用金庫
 西村証券株式会社

◆不動産・建築設計

株式会社エルハウジング
 京都駅ビル開発株式会社
 株式会社空間デザイン
 有限会社一級建築士事務所ターボ設計
 株式会社長栄
 株式会社莫設計同人
 株式会社フラットエージェンシー
 株式会社ローバー都市建築事務所

◆商社・卸売

株式会社ウエダ本社
 株式会社佐野
 三共精機株式会社
 株式会社大黒商会
 株式会社ヒトミ
 ワタキューセイモア株式会社

◆医療・福祉

公益社団法人
 京都市身体障害児者父母の会連合会
 医療法人財団康生会武田病院
 社会福祉法人行風会
 社会福祉法人清和園
 京都市久世特別養護老人ホーム
 医療法人社団千春会
 社会福祉法人同胞会同胞の家
 長岡記念財団老人保健施設
 アゼリアガーデン
 パナソニックエイジフリー株式会社
 洛和会ヘルスケアシステム
 社会福祉法人和楽会
 特別養護老人ホームわらく

◆安全・メンテナンス・清掃

株式会社アイアム
 京都エレベータ株式会社
 株式会社ワタナベ美装

◆宿泊・レストラン・フードサービス

RRH京都オペレーションズ合同会社
リーガロイヤルホテル京都
ウェスティン都ホテル京都
京都タワー
(京阪ホテルズ&リゾート株式会社)
株式会社国華荘びわ湖花街道
里湯昔話雄山荘
株式会社すみや亀峰菴
株式会社ハトヤ瑞鳳閣
柘家株式会社
琵琶湖ホテル
(京阪ホテルズ&リゾート株式会社)
株式会社フクナガ
株式会社ホテルグランヴィア大阪
株式会社八千代

◆エンタテインメント

株式会社ビーイング

◆レジャー・アミューズメント

株式会社エルムンドトラベル
オーパルオペテックス株式会社
近鉄レジャーサービス株式会社
(志摩スペイン村)
株式会社ピックスマイル
有限会社丸益西村屋
Y'sスポーツガーデンパデル京都

◆教育(学校・大学等)

大谷大学・大谷大学短期大学部
京都外国語大学京都外国語短期大学
京都学園大学
国立大学法人京都工芸繊維大学
京都産業大学
京都女子大学
京都精華大学京都国際マンガミュージアム
京都大学
京都文教大学
京都薬科大学
社会福祉法人熊千代会こぐま上野保育園
株式会社クレオテック
公益財団法人大学コンソーシアム京都
同志社女子大学
同志社大学
学校法人ノートルダム女学院
中学校・高等学校
立命館大学
学校法人龍谷大学

◆官公庁

綾部市役所
宇治市役所
近江八幡市
一般財団法人大阪教育文化振興財団
亀岡市役所
川西町役場
京田辺市
京都市
公益財団法人京都市国際交流協会
京都市野外活動施設花背山の家
公益財団法人京都市ユースサービス協会
京都府庁
滋賀県庁
摂津市
豊中市伊丹市クリーンランド
長岡京市役所
東近江市役所
彦根市
福知山市役所
宮津市役所
守山市役所
野洲市役所
栗東市役所

◆その他

京都工業株式会社
京都新聞企画事業株式会社
(京都新聞旅行センター)
サンスイコンサルタント株式会社
株式会社ジイケイ京都
株式会社JTB京都支店
株式会社ディレクターズ・ユニブ
有限会社テララ貸物店
株式会社富田屋
西陣織会館
日本PCサービス株式会社
株式会社乃村工藝社
非営利株式会社PTA
公益財団法人びわ湖芸術文化財団
株式会社ミル総本社
株式会社ユメコム

◆非営利組織<NPO・NGO>

特定非営利活動法人
アントレプレナーシップ開発センター
特定非営利活動法人気候ネットワーク
特定非営利活動法人京都藝際交流協会
京都府地球温暖化防止活動推進センター
一般財団法人京都ユースホステル協会
公益財団法人公害地域再生センター
(あおぞら財団)
特定非営利活動法人
子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ
特定非営利活動法人子ども自立の郷
ウォームアップスクールここから
特定非営利活動法人とよなか市民環境会議
アジェンダ21
特定非営利活動法人ピープルアクティブライフ
認定NPO法人びわこ豊穡の郷

プログレスコース

株式会社インサイトハウス
特定非営利活動法人気候ネットワーク
特定非営利活動法人木野環境
京都市下京区役所
京都府教育委員会
特定非営利活動法人子ども自立の郷
ウォームアップスクールここから
スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社
(京都ハンナリーズ)
株式会社山城工芸
株式会社ワイングロサリー

資料4. プログレスコース講義概要

日程	時間	全体の流れ	回数	講義名	講義形式	内容	
6/14 (木)	18:00～ 19:30	プロジェクトの導入	第1講	オリエンテーション (プログラムの概要・リスクマネジメント) プロジェクトの形成 (目標の提示)	全受講生合同	プログラムの概要やプログラムに臨む心構え、リスクマネジメントについて、活動報告の方法などの説明を受ける。 各プロジェクトに分かれ、自己紹介及び受入先からの目標の提示を受ける。 各プロジェクトのプロジェクト概要を発表し、共有する。その後、受入先や教員からアドバイスを受ける。	
	19:40～ 21:10		第2講	プロジェクトの形成 (プロジェクト概要の発表)			
受入先事前訪問期間：6月15日(金)～6月20日(水)の間に実習先を訪問するなどし、プロジェクトについて指導、アドバイスを受けます。(プロジェクトにより設ける)							
6/21 (木)	18:00～ 19:30	プロジェクトの形成	第3講	プロジェクト・マネジメント (PCMの講義・ワークシートの進め方について)	生全合同講	PCM講義でプロジェクト・マネジメントの概要を学び、ワークシート記入・使用についての指導を受ける。	
	19:40～ 21:10		第4講	プロジェクト・マネジメント (ワークシート①)	各プロジェクト	ワークシート①<プロジェクトの目標の明確化>を完成させる。	
6/28 (木)	18:00～ 19:30		第5講	プロジェクト・マネジメント (ワークシート②)	各プロジェクト	ワークシート②<プロジェクトの成果と活動の明確化>を完成させる。	
	19:40～ 21:10		第6講	プロジェクト・マネジメント (ワークシート③)		ワークシート③<活動計画表>を完成させる。	
7/5 (木)	18:00～ 19:30		第7講	コミュニケーショントレーニング	全受講生合同	就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の中でのコミュニケーション能力等について、専門講師による講習を受ける。	
	19:40～ 21:10		第8講	プレゼンテーショントレーニング		プレゼンテーションのポイントや方法等については、専門講師よりレクチャーを受ける。	
7/12 (木)	18:00～ 19:30		第9講	プロジェクト・マネジメント (今後の活動の確認、活動計画の発表)	全受講生合同	プロジェクト活動計画表の発表。他プロジェクトの受講生との意見交換を行い、プロジェクト活動の完成度を高める。	
	19:40～ 21:10		第10講	プロジェクト・マネジメント (他プロジェクトとの意見交換)			
夏期休暇期間中には、引き続き受入先ごとにプロジェクトを行います。							
10/4 (木)	18:00～ 19:30		プロジェクトの振り返り	第11講	プロジェクト・マネジメント (プロジェクト夏期活動報告)	全受講生合同	それぞれのプロジェクトにおける夏期休暇中の進捗状況を報告しあい、質問や感想を交換する。
	19:40～ 21:10	第12講					
10/11 (木)	18:00～ 19:30	第13講		プロジェクト・マネジメント (プロジェクト評価方法の概要)	合同全受講生	プロジェクト評価の方法を学び、成果報告会につなげる。	
	19:40～ 21:10	第14講		プロジェクト・マネジメント (ワークシート④)	各プロジェクト	ワークシート④<プロジェクトの評価>を完成させます。	
10/25 (木)	18:00～ 19:30	第15講		プロジェクト・マネジメント (自己評価：プログラム受講を通して自己の変化を振り返る)	各プロジェクト	プログラム受講を通しての、自己の変化を振り返る。	
	19:40～ 21:10	第16講					
11/10 (土)	10:40～ 12:10	プロジェクト報告・評価		第17講	成果報告会	全受講生合同	約5ヶ月にわたるプログラムの総括として、プロジェクトごとに活動報告を行う。全体で、それぞれのプロジェクトの到達点について相互評価を行い、今後の学生生活の目標を明らかにする。また、プログラム受講を通しての、自己の変化を振り返る。 受入先・コーディネーター・実習生の交流を深める。
	13:00～ 14:30			第18講			
	14:40～ 16:10			第19講	プロジェクト・マネジメント (自己評価：プログラム受講を通して自己の変化を振り返る)		
	16:20～ 17:50			第20講	成果報告会・自己評価を終えての振り返り修了式		
	18:00～ 19:00		懇親会				

資料5. プログレスコースプロジェクト別コーディネーター一覧

受入先	プロジェクト概要	受講生数 (実習許可)	コーディネーター
京都府教育委員会	【教員養成サポートセミナー】 学校現場において、試行錯誤しながら児童・生徒と教師という立場で向き合った。演習を通して理論と実践を結びつけ、教員になるために必要な実践的指導力を身に付けた。	4	○谷口 知弘 (福知山公立大学)
特定非営利活動法人 子ども自立の郷ウォームアップスクールここから	【地域のつながり深めるここなつ祭in余呉2018】 地域の方々とここからの職員、寄宿生が一丸となって行う、開催8回目となる「ここなつ祭」。その企画準備から開催までをインターンシップ生が中心となって行った。	1	申 昌浩 (京都精華大学)
株式会社インサイトハウス	【やましなさんプロジェクト】 ポータルサイトの運営(取材・記事の作成・管理・提供先の開拓など)、地域イベントへの参加、地域向けイベントの企画運営などの活動をおして山科地域の魅力を発信した。最後に活動をまとめたフリーペーパーを編集し発行した。	2	西村 雅信 (京都工芸繊維大学)
株式会社ワイングロッサリー	【学生向けワインセミナー 企画、開催】 ワインショップの仕事を通じてワインを学びながら、学生向けワインセミナーの内容を組み立て、セミナーの企画・実行をするプロジェクト。社員のサポートの元、セミナーの企画、集客、開催を全て行った。	3	吉田 咲子 (京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部)
スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社(京都ハンナリーズ)	【京都ハンナリーズ集客アッププロジェクト】 公式戦での集客アップのため新規のファンを獲得し来場に結び付けていくかを考え実行するプロジェクト。SNSラインの友達登録を増やし、選手や試合の案内をして集客アップにつなげた。	7	築地 達郎 (龍谷大学)
京都市下京区役所	【下京区魅力発信プロジェクト】 多くの若い世代層に「下京に住みたい、住み続けていきたい」と印象付けるために、下京区の地域情報をツイッターで発信した。ツイッターのフォロワー数も増えて下京の魅力を広報できた。	2	◎渡邊 博己 (京都学園大学)

◎:総合コーディネーター ○:チーフコーディネーター

資料6. ビジネスコース・パブリックコース講義概要

日程	時間	回数	講義名	講義形式	内容
6/16(土)	10:00～11:00	第1講	オリエンテーション①: プログラム参加にあたって リスクマネジメント講習①: 事前学習に向けての心構え	全受講 生合同	プログラムの概要や、プログラムに臨む心構え等を説明 します。
	11:20～12:50	第2講	クラスの相互理解	ゼミ	クラスに分かれ、担当教員を中心として、クラスメンバ ーの紹介をしあいます。
	13:50～15:20	第3講	実習に向けた目標と仮説設定		グループディスカッションを中心として、実習目標と仮説 設定のための意見交換を行います。
	15:30～16:30	第4講	コミュニケーショントレーニング		就業意識の向上、ビジネスマナーの基本、対人関係の 中でのコミュニケーション能力等について、専門講師を 招いて講習します。
	16:40～18:10	第5講			
受入先事前訪問期間:原則6月18日(月)～7月6日(金)の間に実習先を訪問し、 実習内容・期間の確認や、事前レポート作成に向けてアドバイス等の指導を受けます。					
6/30(土)	10:00～11:30	第6講	業界と社会に対する学習①	ゼミ	受入先担当者や修了生のゲストスピーカーによるお話を もとに受入れ先について探求し、事前学習レポート作成 のポイントを学び、内容を深めます。
	11:40～12:40	第7講	業界と社会に対する学習②		
	13:40～15:10	第8講	スキルアップトレーニング	ゼミ	ロジカルシンキングの獲得を目指し、専門講師を招いて 実践的理論を学びます。
	15:20～16:50	第9講			
7/13(金) 7/14(土) 7/15(日) 各日午前・ 午後開講	9:00～10:30 14:00～15:30	第10講	実習に向けた目標と仮説設定①	ゼミ	グループディスカッションを通じ、事前学習の総まとめと して、実習目的を明確にします。また、事前学習レポ ートの書き方のポイントを学びます。
※何れか の回を出 席	10:40～12:10 15:40～17:10	第11講	実習に向けた目標と仮説設定②	ゼミ	事前学習レポートの内容をより深めます。
	12:20～13:20 17:20～18:20	第12講	実習に向けた目標と仮説設定③ リスクマネジメント講習②: 実習・事後学習に向けての心構え オリエンテーション②: 実習・事後学 習に向けての事務連絡	ゼミ	事前学習レポートの内容をより深めます。 実習中に留意しなくてはならないリスクについて学びま す。 実習にあたっての準備、確認・注意事項を説明します。
実習の実施 (原則として8月上旬～9月中旬の期間で実施されます。)					
9/15(土)	9:00～10:30	補講	※クラスによって実施	ゼミ	
	10:50～12:20				
9/22(土)	10:00～11:00	第13講	実習経験の共有①	ゼミ	実習において得たことや感じた課題等について相互に 発表を行い、個々の体験をクラスで共有します。それら に基づくディスカッションを通して仮説の検証を行い、レ ポートの内容を深めます。
	11:10～12:25	第14講	実習経験の共有②		
	13:10～14:40	第15講	実習経験の共有③	ゼミ	実習経験交流会に向けて、クラスとしての経験共有をま とめます。
	15:00～16:30	第16講	実習経験交流会	ゼミ合同	実習を通して学んだことをゼミごとに発表し、他のゼミの 発表を聞くことで、考え方や伝え方などを学び、事後学 習レポートの内容に反映させます。
	16:40～17:55	第17講	実習経験の振り返り 全体講評 修了式		他のゼミからのコメントから各クラスで振り返りを行っ た後、全体講評による振り返りと修了証を授与します。

資料7. ビジネスコース・パブリックコースコーディネーター一覧

コース	主な業種・業界	クラス	受講生数	氏名	大学	所属等
ビジネス	不動産・建築設計 製造(その他) その他	B1	14	東 正志	京都文教大学	総合社会学部
	金融・証券・保険 コンサルティング・調査・研究 人材ビジネス	B2	14	桜沢 隆哉	京都女子大学	法学部
	金融・証券・保険 土業(法律・会計事務所)	B3	13	山田 廣己	京都産業大学	大学院法務・法学研究科
	エンタテインメント レジャー・アミューズメント マスコミ・広告・印刷・出版	B4	13	伊原 千晶	京都学園大学	人文学部心理学科
	ブライダル レジャー・アミューズメント 運輸・物流 その他	B5	13	太田原 準	同志社大学	商学部
	教育(学校・大学等) レジャー・アミューズメント その他	B6	13	岸 基史	同志社大学	経済学部
	教育(学校・大学等)	B7	13	岸岡 洋介	京都外国語大学	外国語学部
	医療・福祉 教育(学校・大学等) その他	B8	13	黒宮 一太	京都文教大学	総合社会学部
	宿泊・レストラン・フードサービス	B9	13	高野 拓樹	京都光華女子大学・ 京都光華女子大学短期 大学部	キャリア形成学部
	小売・販売・専門店 安全・メンテナンス・清掃 製造(食品)	B10	14	高橋 真	大谷大学	社会学部
	商社・卸売 小売・販売・専門店 その他	B11	13	◎ 多田 実	同志社大学	政策学部
	製造(電気機械設備) 製造(その他) 製造(食品) 宿泊・レストラン・フードサービス	B12	14	○ 三浦 潔	京都文教大学	総合社会学部
	マスコミ・広告・印刷・出版 ソフトウェア・通信 その他	B13	13	濱田 崇嘉	龍谷大学	経営学部
パブリック	官公庁(地方公共団体) 非営利組織(NPO・NGO)	P1	14	李 為	京都産業大学	経営学部
	官公庁(地方公共団体)	P2	13	田中 幹大	立命館大学	経営学部
	官公庁(地方公共団体)	P3	13	◎ 古川 秀夫	龍谷大学	国際学部
	官公庁(地方公共団体)	P4	11	松村 千鶴	京都府立大学	教養教育センター
	官公庁(地方公共団体)	P5	14	○ 河村 律子	立命館大学	国際関係学部

◎:総合コーディネーター ○:チーフコーディネーター

資料8. 受講生意識調査集計結果

就職に対する意識や自己理解に関する質問項目を設定し、実習若しくはプロジェクト実施の前後に同じ質問に回答する形式の調査を行い、インターンシップが与える影響についての考察を加えた。

社会人として仕事をするうえでの知識や心構えに関わる「就職レディネス」、自己管理能力の感覚に関わる「有能感」、自らの社会における立場をわかまえているかについて知る「自己主体性」の3つの要素を測定するため、30項目の指標を用いた(表-1)。

また、各質問についてはそれぞれ「非常に当てはまる」を6点、「かなり当てはまる」を5点、「やや当てはまる」を4点、「やや当てはまらない」を3点、「かなり当てはまらない」を2点、「全く当てはまらない」を1点として、平均点を算出し、グラフ化して比較した(表-2)。

1.実施日

ビジネスコース・パブリックコース
プログレスコース

2018年6月16日(土)／2018年9月22日(土)
2018年6月14日(木)／2018年11月10日(土)

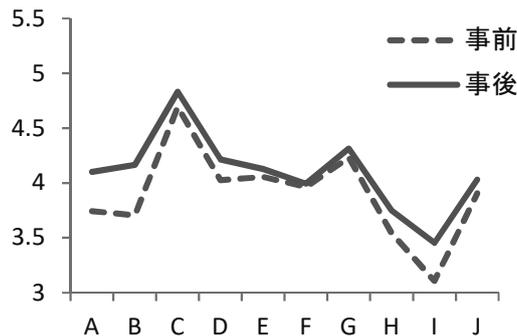
2.回答数

	実習許可 者数	事前		事後	
		回答数	回答率	回答数	回答率
ビジネスコース	173	235	98.7%	229	96.2%
パブリックコース	65				
プログレスコース	19	18	94.7%	18	94.7%
合計	257	253	98.4%	247	96.1%

表-2. 意識調査結果(比較)

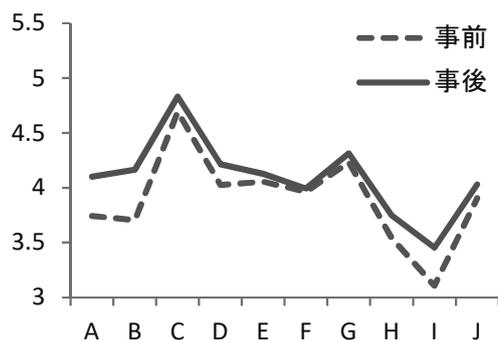
<全体>

全体的に長期間のプロジェクトを実行するプログレスコースでの変化が大きい結果となったが、両コースともに「就職レディネス」に関する項目の変化が大きく、インターンシップに参加することで社会人になる心構えに変化が生じることがわかる。



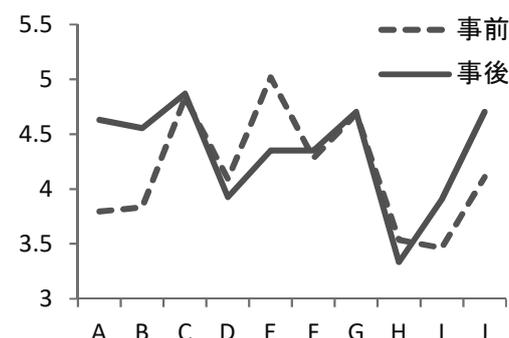
<ビジネスコース・パブリックコース>

全体的に事後調査が事前調査を上回る結果となった。「就職レディネス」の項目の変化が大きく、実際の仕事の体験を通じた社会人との関わりが大きな変化をもたらしていると考えられる。



<プログレスコース>

全体的に事後調査が事前調査を上回る結果となった。「就職レディネス」の項目に関する変化、及び「自己主体性」に関する項目の中でのJ「自己理解」の変化が大きく、様々な職業、社会人との関わりながら長期間のプロジェクトを実行する過程が変化をもたらしたと考えることができる。



資料8. 受講生意識調査集計結果

表-1. 意識調査の指標と平均点

		実習前						実習後						
		ビジネス・パブリック		プロダクト		全体		ビジネス・パブリック		プロダクト		全体		
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
就業レディネス	A	職場の人間関係の難しさがある程度知っている。 仕事上の優れたリーダーシップのあり方が分かる。 職業人としての礼儀、作法を心得ている。	4.31	0.46	4.56	0.41	4.31	0.46	4.46	0.41	4.31	0.46	4.46	0.41
	B	上司と部下の人間関係の複雑さを理解できる。 働くことがどういうことか知っている。 組織がどのように運営されているのかある程度わかる。	4.16	0.42	4.28	0.41	4.16	0.42	4.33	0.41	4.16	0.42	4.33	0.41
	C	学生と社会人の区別の理解	3.66	0.37	3.72	0.37	3.66	0.37	4.21	0.37	3.66	0.37	4.21	0.37
	D	ジェンダー問題への気づき	3.29	0.35	3.50	0.35	3.29	0.35	3.95	0.35	3.29	0.35	3.95	0.35
	E	実行力	4.86	0.50	5.06	0.48	4.86	0.50	4.82	0.48	4.86	0.50	4.82	0.48
	F	環境適応力	4.01	0.46	4.28	0.46	4.01	0.46	4.52	0.46	4.01	0.46	4.52	0.46
	G	柔軟な物事の見方	5.21	0.17	5.17	0.17	5.21	0.17	5.15	0.17	5.21	0.17	5.15	0.17
	H	生活規律	3.66	0.40	4.00	0.36	3.66	0.40	4.09	0.36	3.66	0.40	4.09	0.36
	I	社会へのコミットメント感	4.40	0.42	4.39	0.40	4.40	0.42	4.40	0.42	4.40	0.42	4.40	0.42
	J	自己理解	4.01	0.38	3.89	0.40	4.01	0.38	4.06	0.38	4.01	0.38	4.06	0.38
有能感	A	やるべきことを実際、行動に移せる。 やるべきことを最後までやり遂げることができる。 与えられた仕事を上手こなす自信がある。	4.09	0.43	4.39	0.40	4.09	0.43	4.01	0.43	4.09	0.43	4.01	0.43
	B	異なった状況や環境にうまく適応できる方だ。 いろいろな困難に耐える精神力がある。 人間関係を通して学ぶべきことを知っている。	4.41	0.45	4.11	0.45	4.41	0.45	4.46	0.45	4.41	0.45	4.46	0.45
	C	広い視野で物事を見るようにしている。 いろんな角度から考えて、動くようにしている。 人それぞれの個性を認めることができる。	3.88	0.38	4.18	0.38	3.88	0.38	3.97	0.38	3.88	0.38	3.97	0.38
	D	今、規則正しい生活を送っている。 毎日休まず働くことができると思う。 取引先や顧客との関係の持ち方を心得ている。	4.15	0.39	4.50	0.39	4.15	0.39	3.96	0.39	4.15	0.39	3.96	0.39
	E	自分は社会にとって必要な人間だと思う。 いつかは新しく会社をおこすことに参画する自信がある。 社会の一員としての自分を客観的に見ることができる。	3.88	0.38	4.17	0.38	3.88	0.38	4.04	0.38	3.88	0.38	4.04	0.38
	F	自分に欠けている部分をきちんと把握している。 自分の興味・関心について人に説明できる。 自分の進むべき道を十分に認識している。	4.06	0.46	4.56	0.46	4.06	0.46	4.06	0.46	4.06	0.46	4.06	0.46
	G	環境適応力	3.93	0.42	4.44	0.42	3.93	0.42	4.05	0.42	3.93	0.42	4.05	0.42
	H	生活規律	4.71	0.56	5.06	0.47	4.71	0.56	4.73	0.56	4.71	0.56	4.73	0.56
	I	社会へのコミットメント感	3.63	0.33	3.33	0.33	3.63	0.33	3.50	0.33	3.63	0.33	3.50	0.33
	J	自己理解	3.74	0.35	3.78	0.35	3.74	0.35	4.04	0.35	3.74	0.35	4.04	0.35
自己主体性	A	職場の人間関係の難しさがある程度知っている。 仕事上の優れたリーダーシップのあり方が分かる。 職業人としての礼儀、作法を心得ている。	4.31	0.46	4.56	0.41	4.31	0.46	4.46	0.41	4.31	0.46	4.46	0.41
	B	上司と部下の人間関係の複雑さを理解できる。 働くことがどういうことか知っている。 組織がどのように運営されているのかある程度わかる。	4.16	0.42	4.28	0.41	4.16	0.42	4.33	0.41	4.16	0.42	4.33	0.41
	C	学生と社会人の区別の理解	3.66	0.37	3.72	0.37	3.66	0.37	4.21	0.37	3.66	0.37	4.21	0.37
	D	ジェンダー問題への気づき	3.29	0.35	3.50	0.35	3.29	0.35	3.95	0.35	3.29	0.35	3.95	0.35
	E	実行力	4.86	0.50	5.06	0.48	4.86	0.50	4.82	0.48	4.86	0.50	4.82	0.48
	F	環境適応力	4.01	0.46	4.28	0.46	4.01	0.46	4.52	0.46	4.01	0.46	4.52	0.46
	G	柔軟な物事の見方	5.21	0.17	5.17	0.17	5.21	0.17	5.15	0.17	5.21	0.17	5.15	0.17
	H	生活規律	3.66	0.40	4.00	0.36	3.66	0.40	4.09	0.36	3.66	0.40	4.09	0.36
	I	社会へのコミットメント感	4.40	0.42	4.39	0.40	4.40	0.42	4.40	0.42	4.40	0.42	4.40	0.42
	J	自己理解	4.01	0.38	3.89	0.40	4.01	0.38	4.06	0.38	4.01	0.38	4.06	0.38

2018年度インターンシップ・プログラム実施報告書

発行日 2018年12月

発行・編集 公益財団法人 大学コンソーシアム京都
教育事業部 インターンシップ事業推進室

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内

TEL: (075) 353-9106 FAX (075) 353-9101

<http://www.consortium.or.jp>
